

熊本県内経済情勢報告

令和6年4月

財務省九州財務局



九州財務局に関する情報はこちら！！



ホームページ



X(旧Twitter)



Facebook

(問い合わせ先)

財務省九州財務局経済調査課

TEL 096-353-6351 (代表)

ホームページアドレス

<https://lfb.mof.go.jp/kyusyu/>

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、緩やかに回復している」

項目	前回（6年1月判断）	今回（6年4月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに回復している	緩やかに回復している	→

（注）6年4月判断は、前回6年1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、物価上昇の影響もみられるものの、緩やかに回復している。生産活動は、海外経済の減速などの影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。雇用情勢は、持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回（6年1月判断）	今回（6年4月判断）	前回比較
個人消費	緩やかに回復している	緩やかに回復している	→
生産活動	横ばいの状況にある	緩やかに持ち直している	↗
雇用情勢	持ち直している	持ち直している	→
設備投資	5年度は増加見込み	5年度は減少見込み	↘
企業収益	5年度は減益見込み	5年度は減益見込み	→
住宅建設	持ち直している	持ち直している	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、回復していくことが期待される。ただし、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

【主な項目】

■ 個人消費 「緩やかに回復している」

百貨店・スーパー販売は、物価上昇の影響もみられるものの、緩やかに回復している。コンビニエンスストア販売は、好調である。ドラッグストア販売は、食料品を中心に好調である。ホームセンター販売は、弱含んでいる。家電大型専門店販売は、物価上昇による節約意識の高まりにより、弱い動きとなっている。乗用車の新車販売は、一部メーカーの生産・出荷停止の影響により、弱含んでいる。宿泊は、国内客、インバウンド客ともに好調であり、回復している。

(主なヒアリング結果)

- 食料品では割安感のある大容量の精肉が好調で、特売日にはまとめ買いもみられる。また、総菜は必要な分だけ購入できるバラ売りが好調。(百貨店・スーパー)
- 2月、3月は暖かい日が多かったため、春物衣料やフォーマルウェアに動きがあった。卒業式などの式典が通常どおりの開催となったことも影響しているようだ。株高も影響しているのか、宝飾品などが好調で富裕層の消費マインドが上昇しているように感じる。(百貨店・スーパー)
- 衣料品では、低価格帯もしくは高価格帯のどちらかに流れる二極化の傾向があり、中価格帯が厳しい状況にある。土産物も好調であるが、低価格帯が選ばれる傾向にある。(大型商業施設)
- 阿蘇神社の復旧による観光客増加で、周辺店舗では利用客が増加している。(コンビニエンスストア)
- 食料品や日用品を低価格で販売していることにより、他の小売店からの顧客流入が続いている。(ドラッグストア)
- 暖冬の影響により、暖房器具や防寒具、灯油用ポリタンクなどの季節商材が振るわなかった。(ホームセンター)
- レジャー・観光などのコト消費へのシフトや、物価上昇による家計圧迫のため、生活水準の向上を目的とした買い替えより、故障などのやむを得ない買い替えが多い傾向にある。(家電大型専門店)
- 半導体不足など部品不足の影響は解消されているが、一部メーカーの生産停止の影響から供給は滞っており、登録台数は計画を下回っている。(自動車販売店)
- 熊本市内を中心にホテルの建設が相次いでいるが、ホテルの増加によって稼働率が下がったなどの話は聞いておらず、個人客を中心に需要は高まっている。また、宿泊料金高騰による需要の落ち込みも感じない。(公的機関)
- インバウンド客については台湾や香港からの利用者が多く、最近では欧米圏からの利用者も増えている。(宿泊施設)
- 今年は会社の歓送迎会だけでなく、卒業式や入学式にあわせて開催される懇親会などの需要も戻りつつある。(飲食業界団体)

■ 生産活動 「緩やかに持ち直している」

汎用・生産用機械は、半導体製造装置を中心に増加している。食料品等は、外食向け需要が堅調なこともあり、持ち直しつつある。電子部品・デバイスは、海外経済の減速などの影響がみられるものの、高付加価値製品を中心に高水準を維持している。化学は、横ばいの状況にある。金属製品は、横ばいの状況にある。輸送機械は、自動車関連を中心に緩やかに回復している。

- 取引先の設備投資の延期などがあり半導体製造装置の受注が減少していたが、昨年夏頃に底を打ち、非先端分野を中心に回復している。(汎用・生産用機械)
- 業務用飲料は、コロナ前には戻っていないものの、宴会需要の回復から昨年より生産量が増加している。(食料品等)
- 民生用は、海外経済の低迷などにより海外向けは弱い、国内向けは省エネ性能の高い製品へのニーズが高く堅調に推移している。(電子部品・デバイス)
- 欧州での需要が好調であり、引き続き高い稼働率を維持している。(輸送機械)

■ 雇用情勢 「持ち直している」

有効求人倍率は、このところ低下している。新規求人数は、前年を下回っている。企業の人手不足感は、高い状況が続いている。

- 有効求人倍率は低下しているものの、半導体の在庫調整局面が変化しつつあり、将来を見据えた人材確保の動きがみられる。(公的機関)
- 半導体関連の企業立地が進んでいる地域の工場などに人材が流れていることに加え、高齢の従業員を多く抱えていることもあり、人手不足がさらに深刻化することが懸念される。(その他の事業サービス業)

- 設備投資 「5年度は減少見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年1-3月期
 - 製造業、非製造業ともに減少見込みとなっている。
- 企業収益 「5年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年1-3月期
 - 製造業では減益見込み、非製造業では増益見込みとなっている。
- 住宅建設 「持ち直している」
 - 新設住宅着工戸数(5年12月~6年2月)をみると、持家は前年を下回っているものの、貸家及び分譲住宅は前年を上回っている。

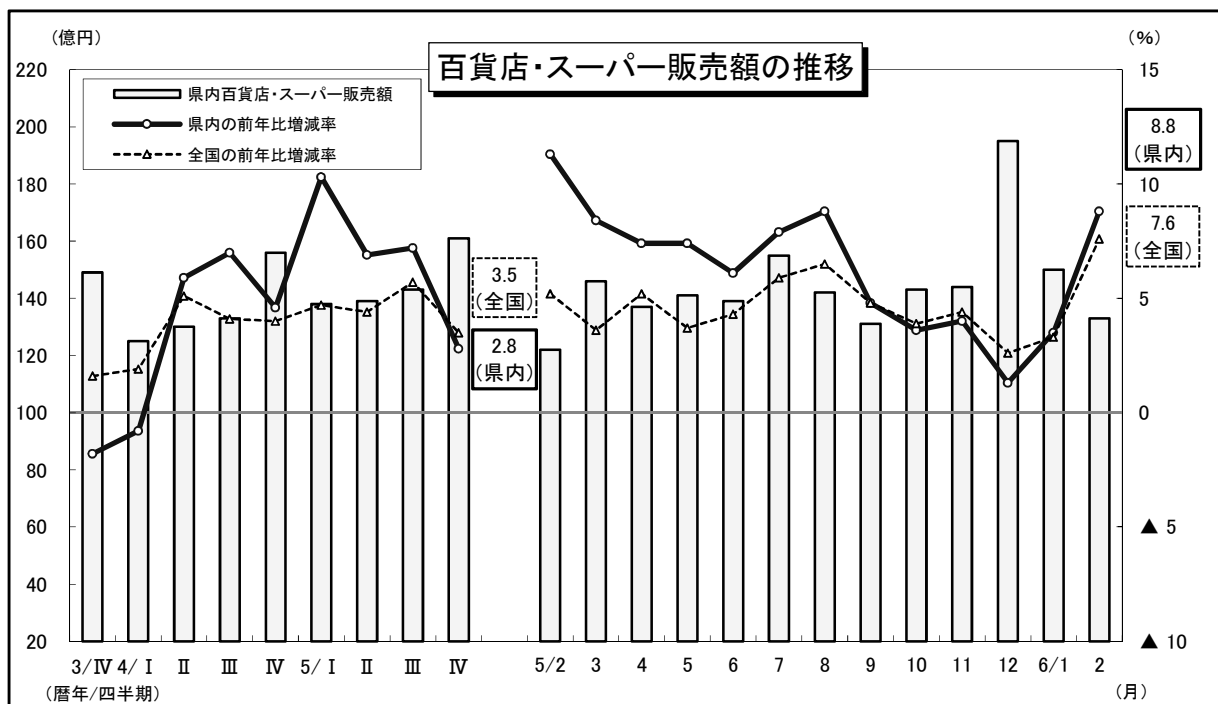
【その他の項目】

- 企業の景況感 「現状判断は『下降』超」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」6年1-3月期
 - 6年1~3月期の景況判断BSIをみると、全産業では「下降」超となっている。
先行き(全産業)をみると、6年4~6月期は「上昇」超の見通しとなっている。
- 公共事業
 - 公共工事請負金額(5年度末累計)をみると、前年度を上回っている。
- 倒産
 - 企業倒産(6年1~3月期)は、件数は前年を上回り、負債総額は前年を下回っている。

【参 考 資 料】

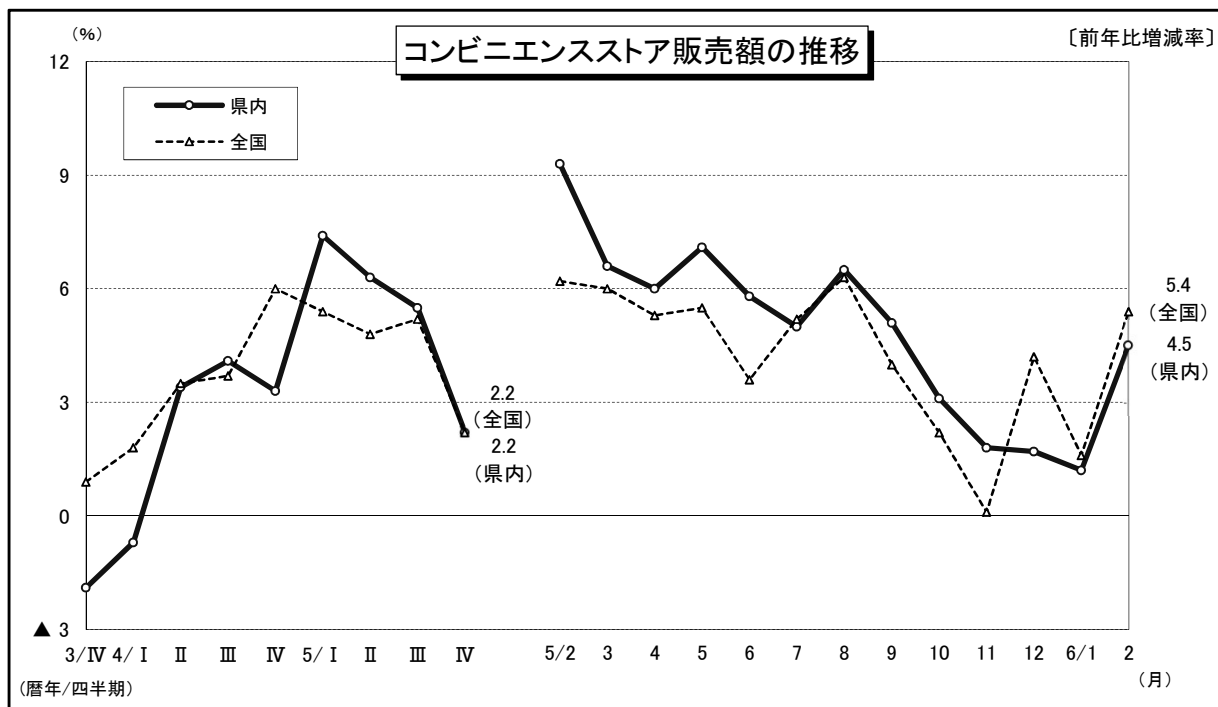
1. 個人消費	参-1
2. 生産活動	参-4
3. 雇用情勢	参-5
4. 設備投資	参-6
5. 企業収益	参-6
6. 住宅建設	参-7
7. 企業の景況感	参-8
8. 公共事業	参-9
9. 倒産	参-10

1. 個人消費



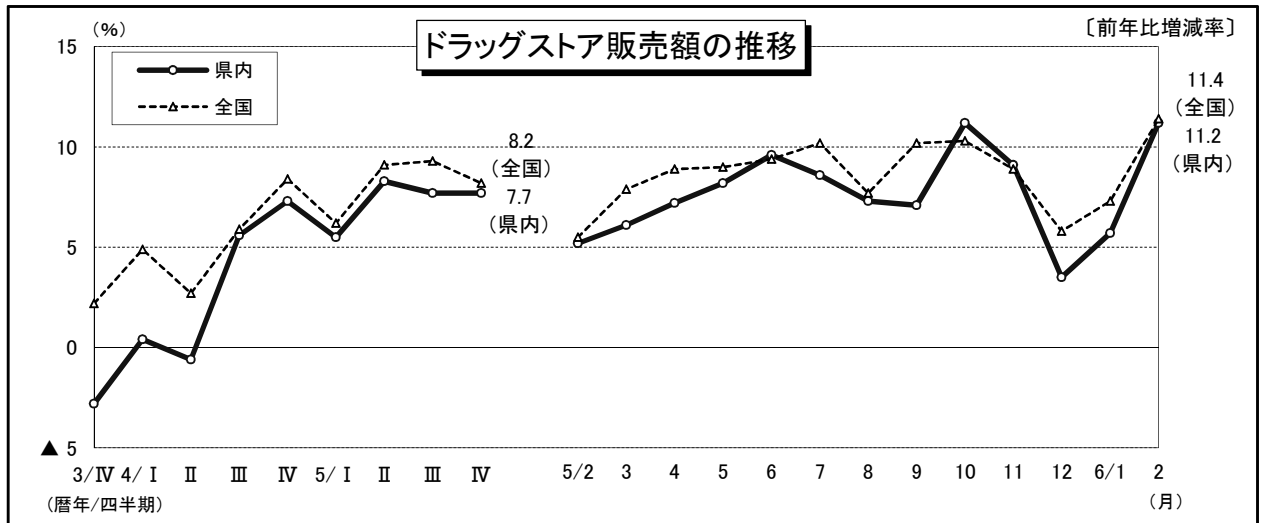
(注) 全店ベース。四半期の棒グラフは月平均。6年2月は速報値。

[資料: 経済産業省]



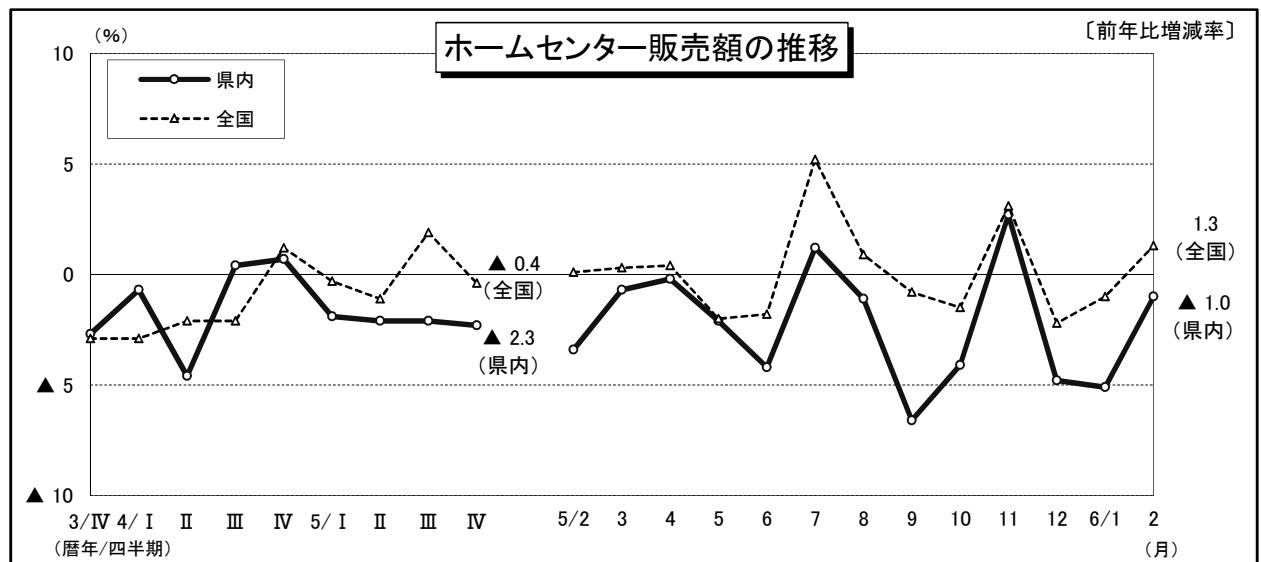
(注) 全店ベース。6年2月は速報値。

[資料: 経済産業省]



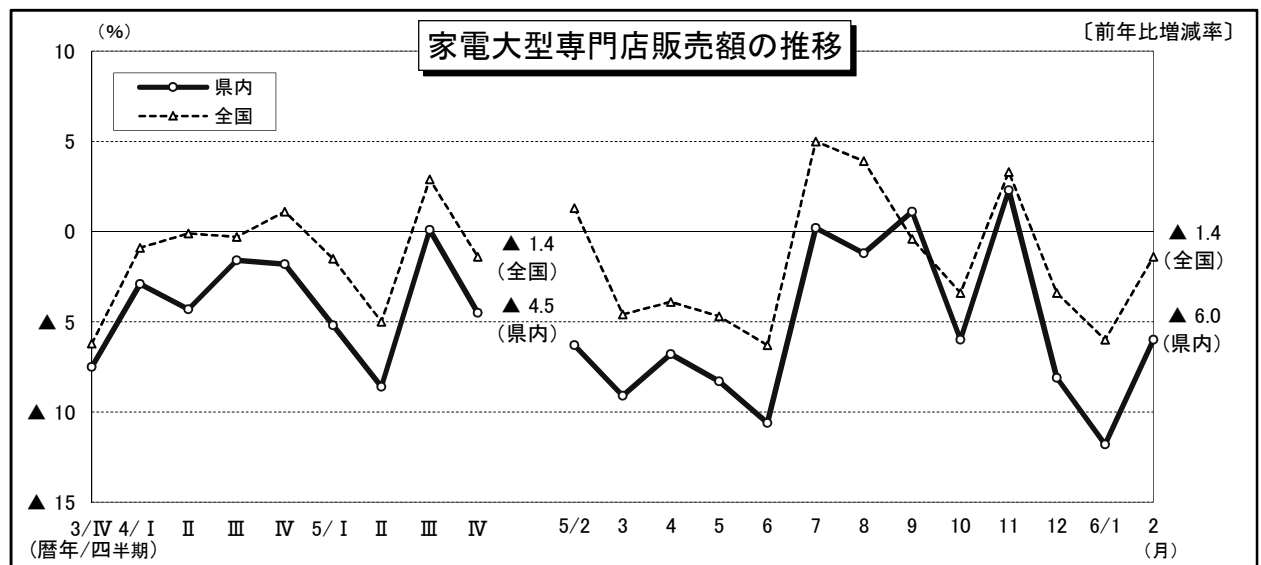
(注)全店ベース。6年2月は速報値。

[資料:経済産業省]



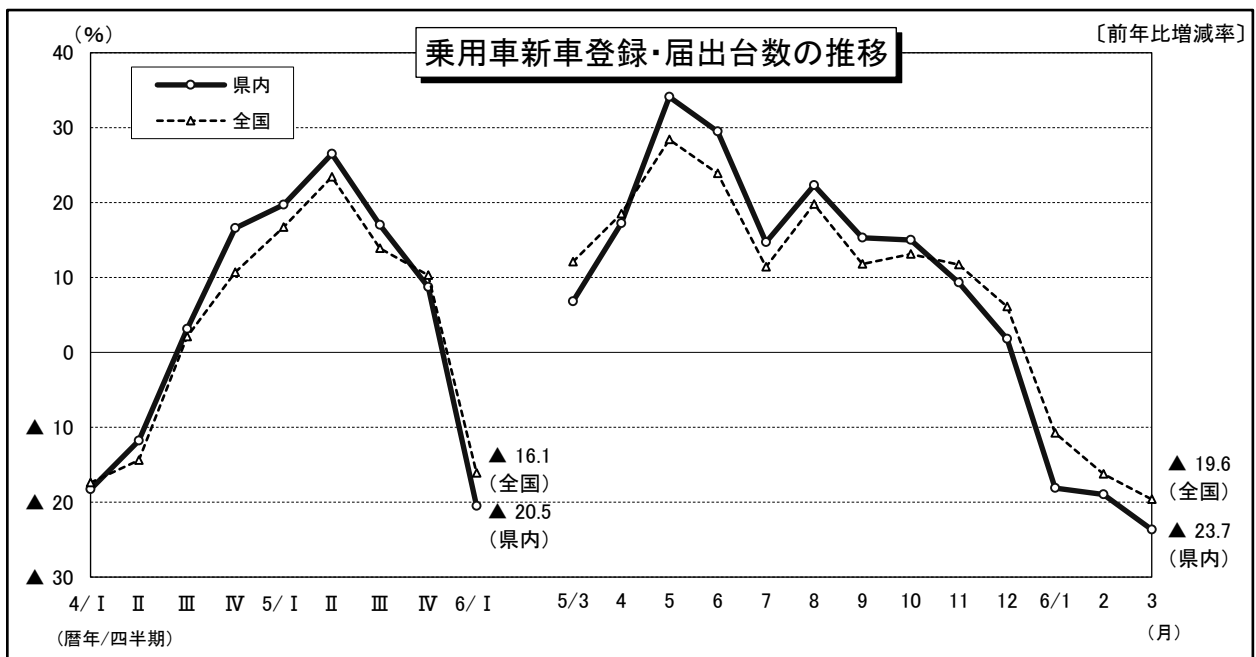
(注)全店ベース。6年2月は速報値。

[資料:経済産業省]

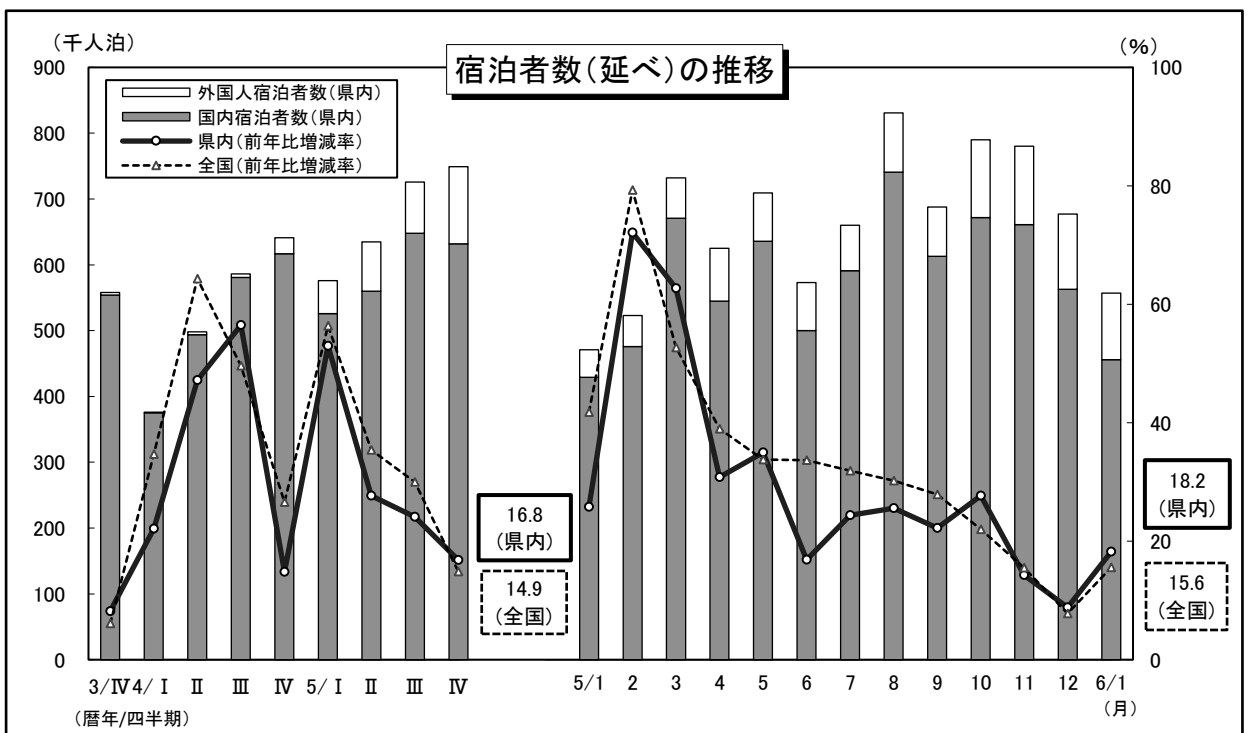


(注)全店ベース。6年2月は速報値。

[資料:経済産業省]

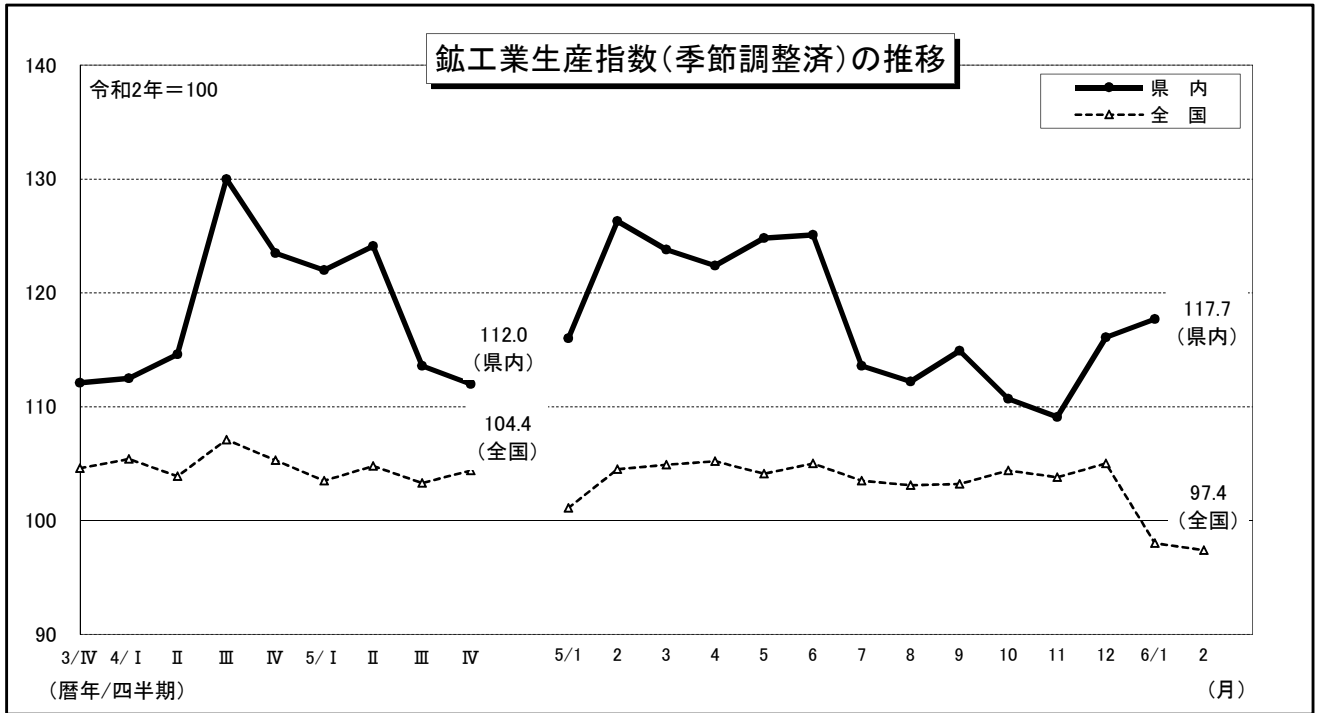


(注)6年第1四半期及び6年3月は速報値。 [資料: 日本自動車販売協会連合会、熊本運輸支局及び全国軽自動車協会連合会]



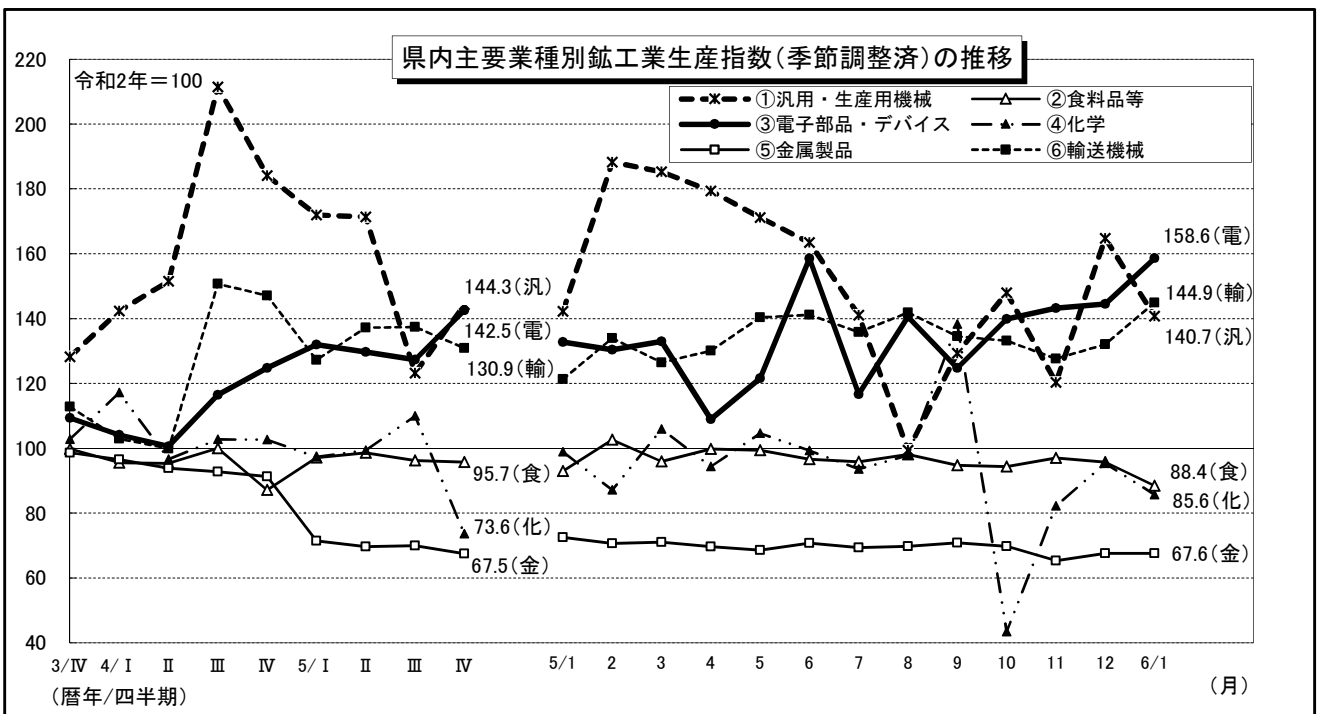
(注) 四半期の棒グラフは月平均。 [資料: 観光庁]

2. 生産活動



(注) 県内の6年1月は速報値。

[資料: 経済産業省、熊本県]

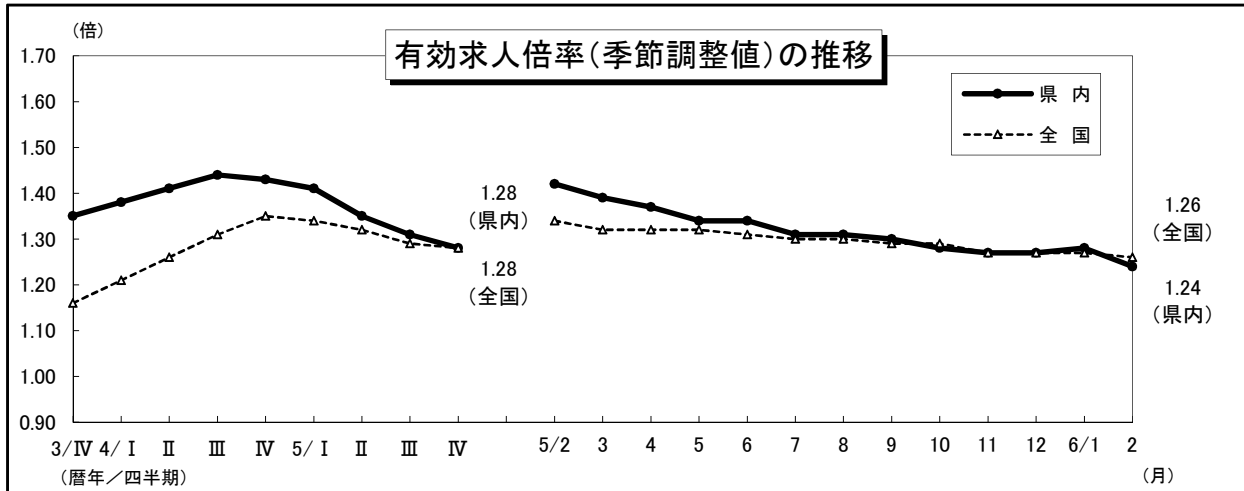


(注) 1. 6年1月は速報値。

2. ○数字は、県内におけるシェア順位。

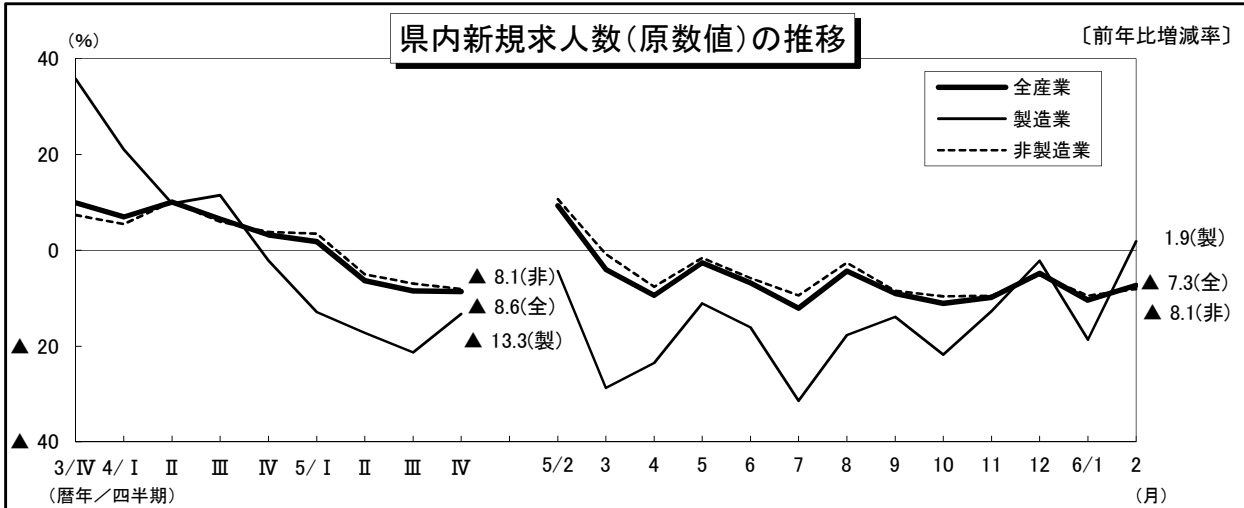
[資料: 熊本県]

3. 雇用情勢



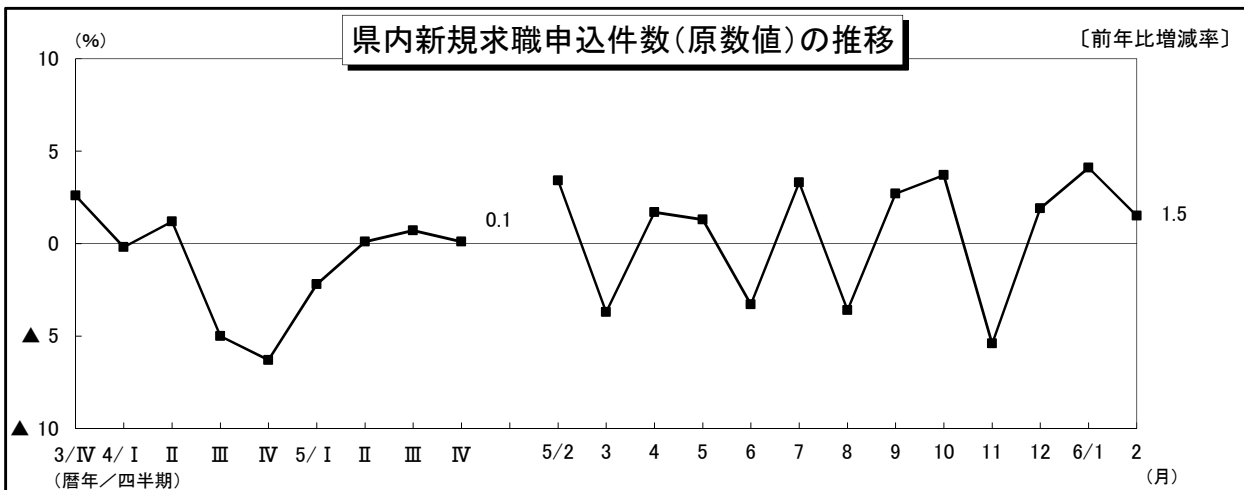
(注)パートを含む。

[資料:厚生労働省]



(注)パートを含む。

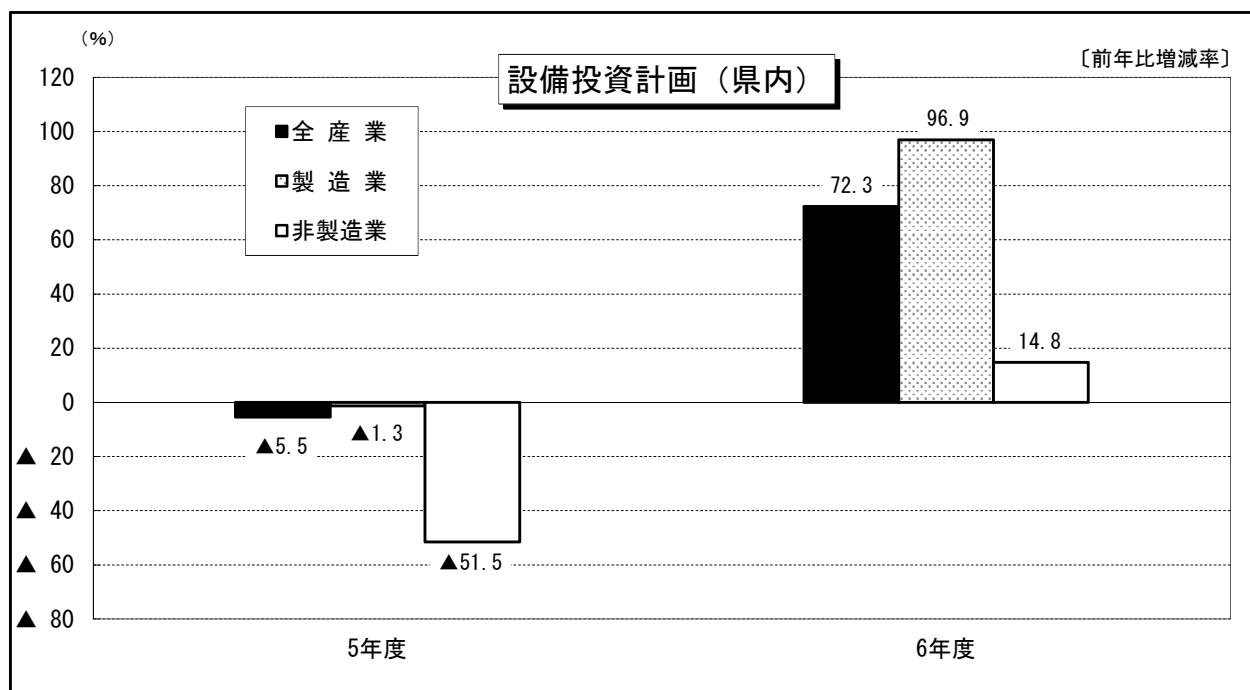
[資料:厚生労働省、熊本労働局]



(注)パートを含む。

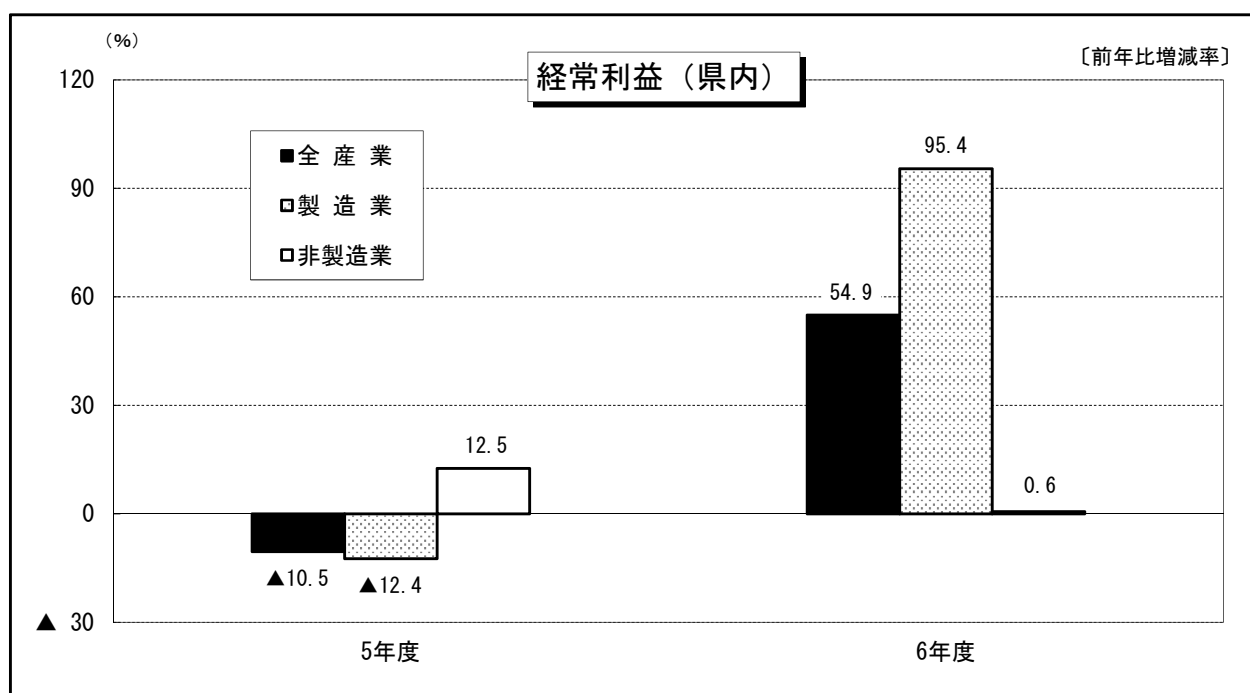
[資料:厚生労働省]

4. 設備投資



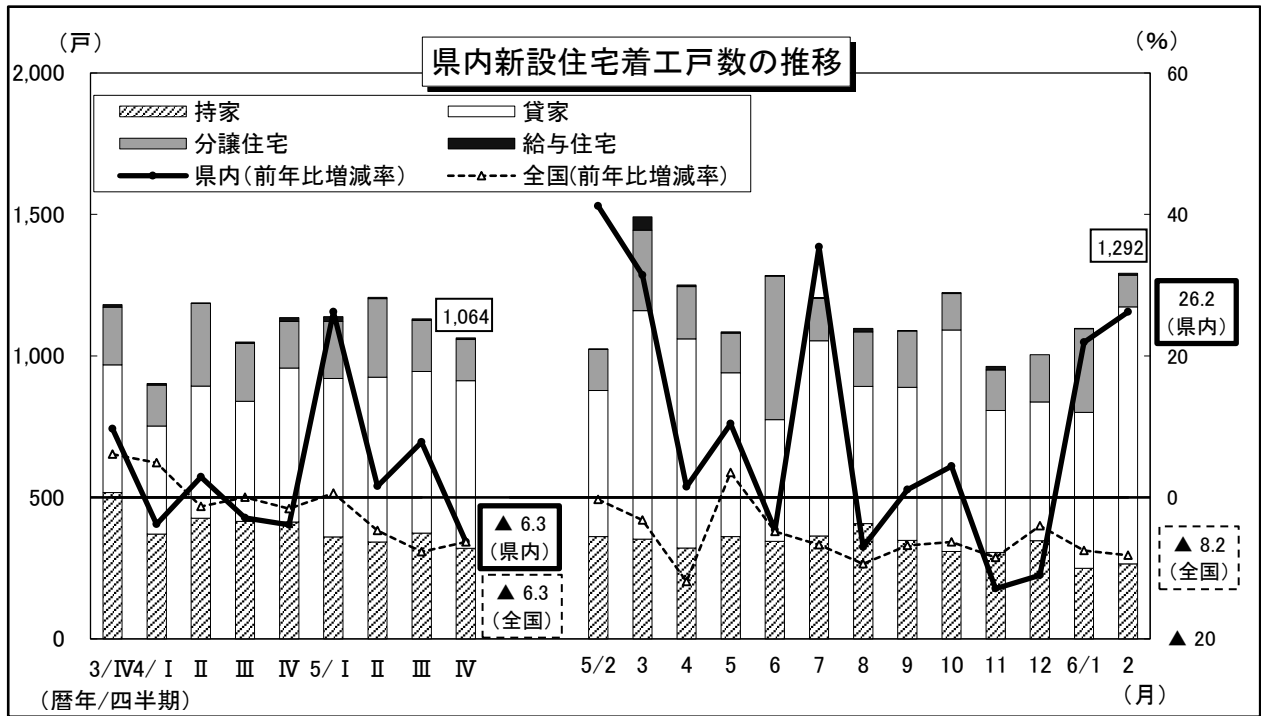
[資料：九州財務局(法人企業景気予測調査)]

5. 企業収益



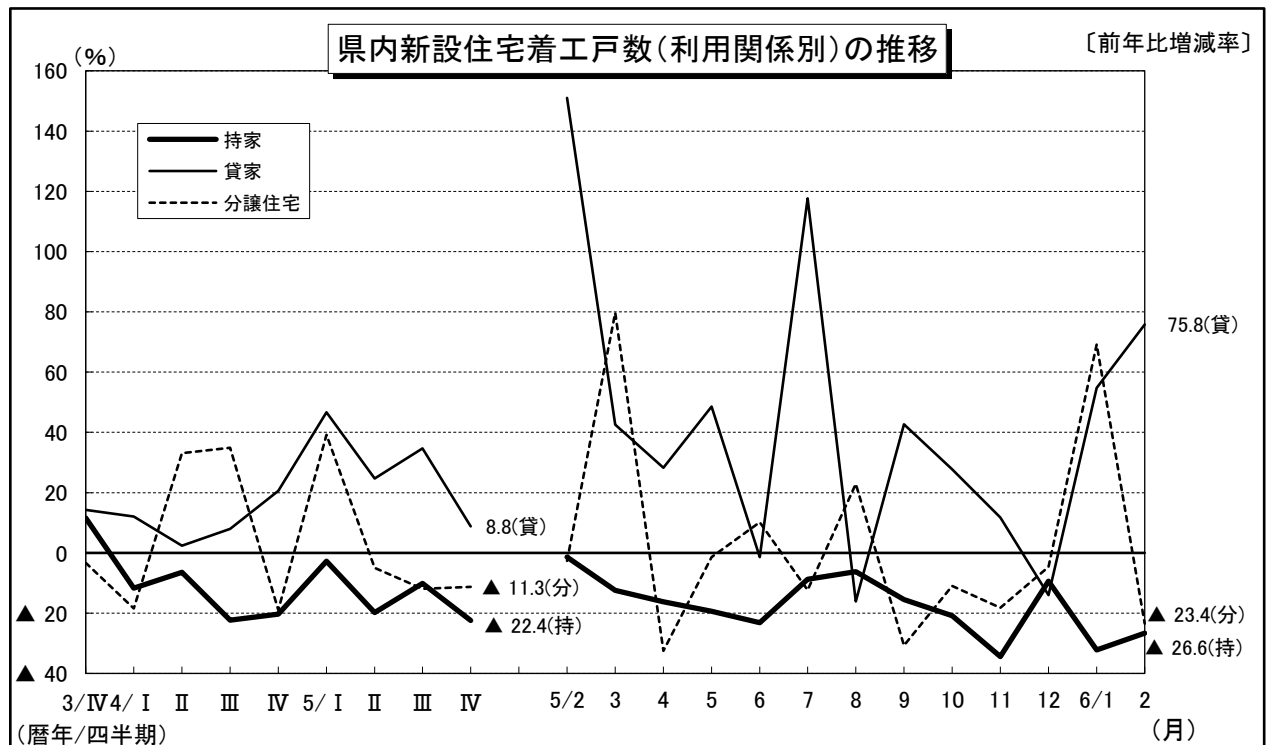
[資料：九州財務局(法人企業景気予測調査)]

6. 住宅建設



(注) 四半期の棒グラフは月平均。

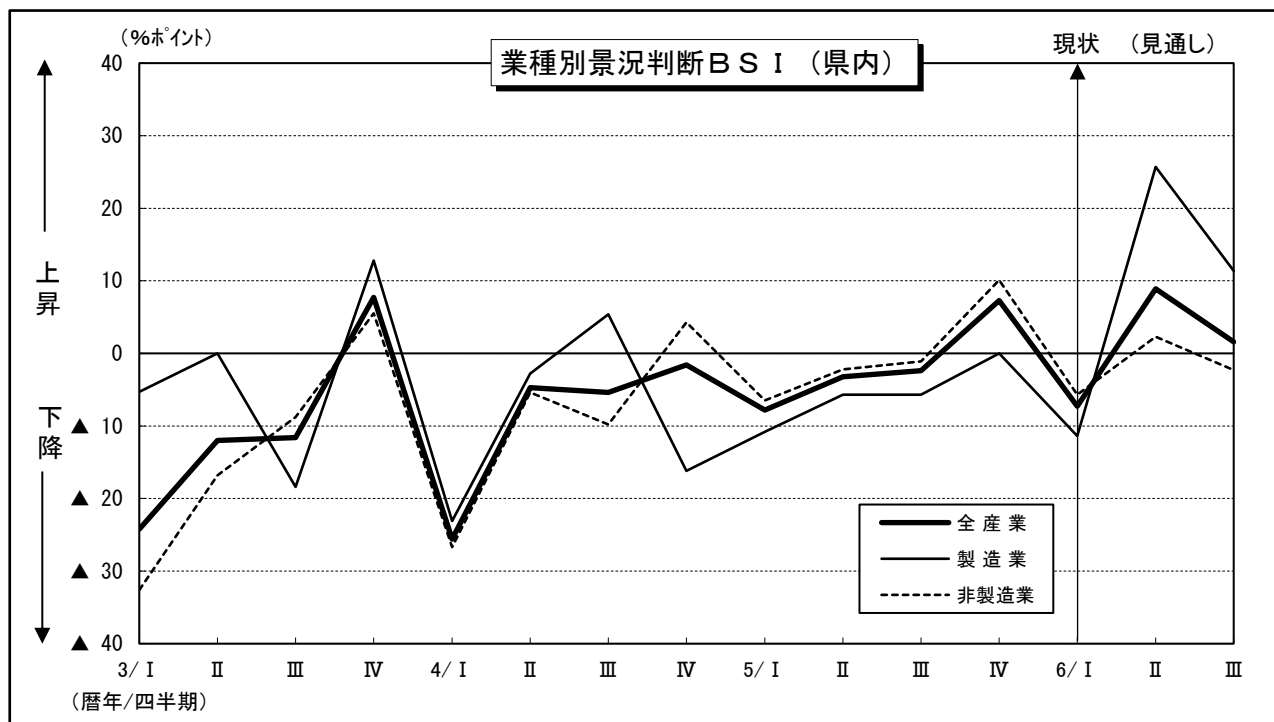
[資料: 国土交通省]



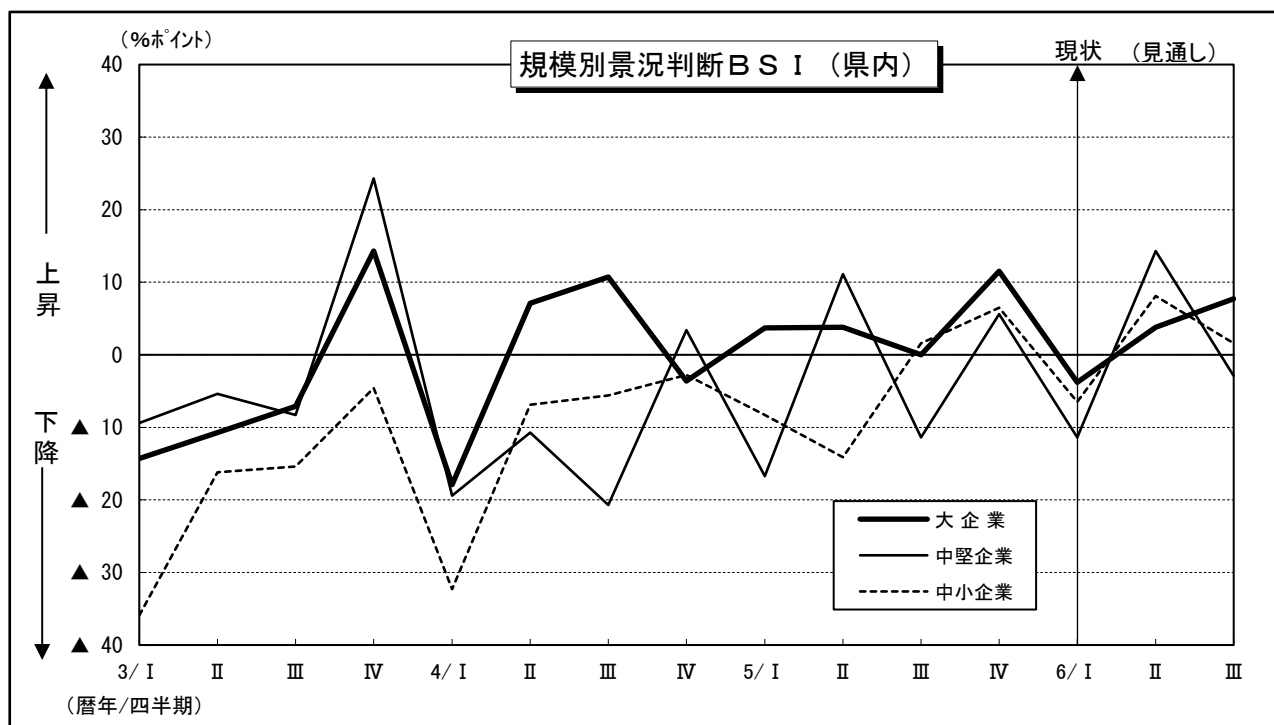
(注) 給与住宅については、些少であるため表記していない。

[資料: 国土交通省]

7. 企業の景況感

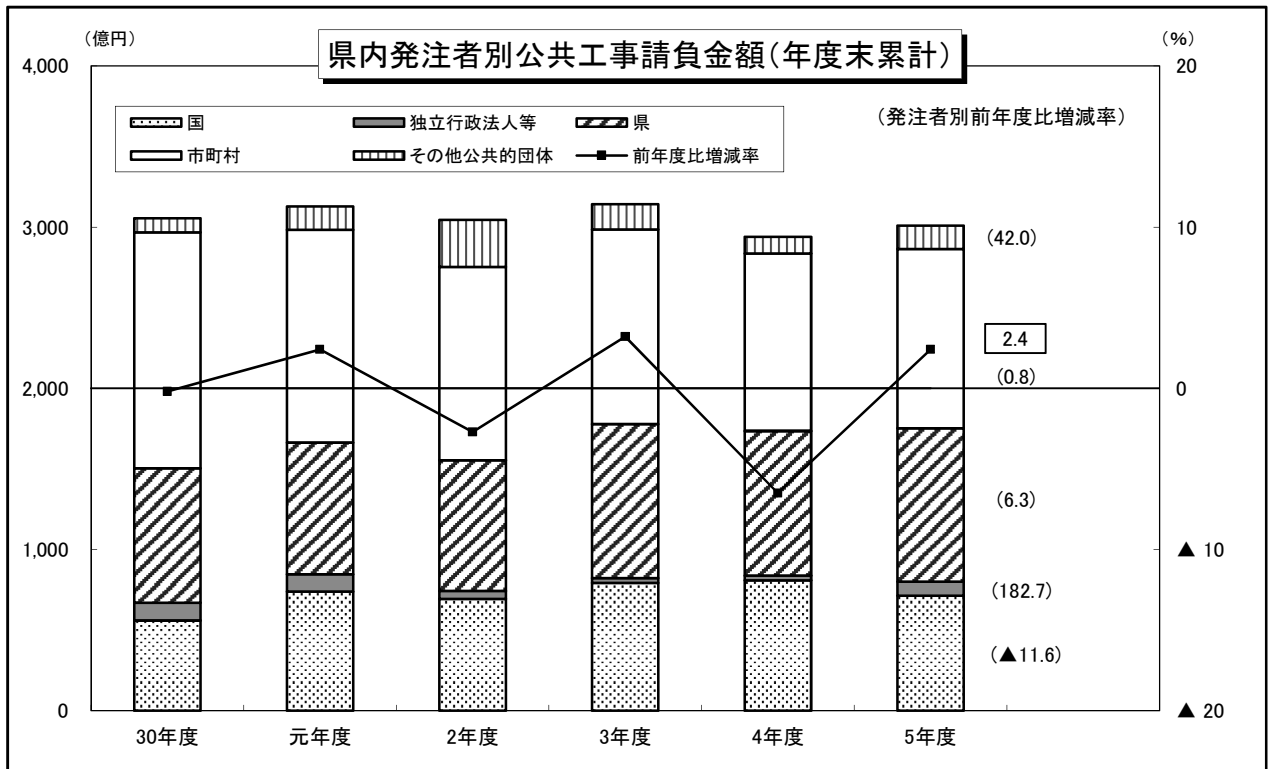


[資料:九州財務局(法人企業景気予測調査)]

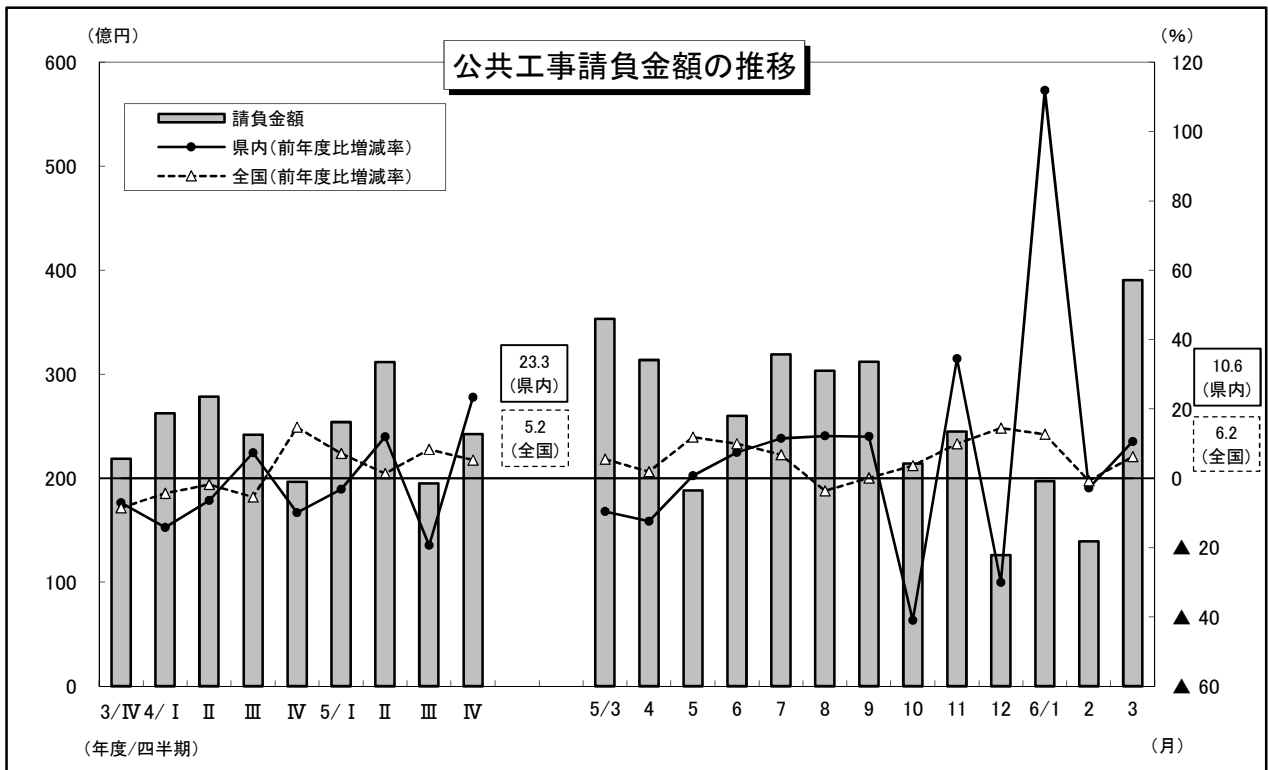


[資料:九州財務局(法人企業景気予測調査)]

8. 公共事業



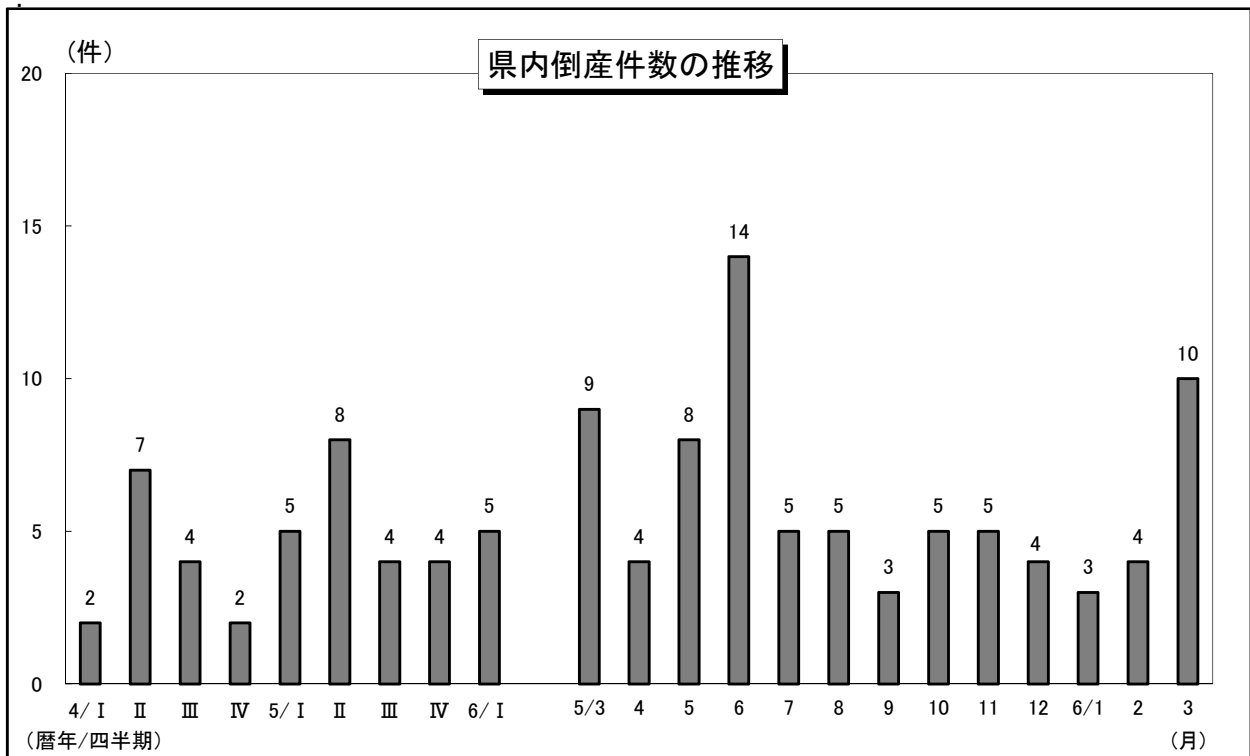
[資料:北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)]



(注)四半期の棒グラフは月平均。

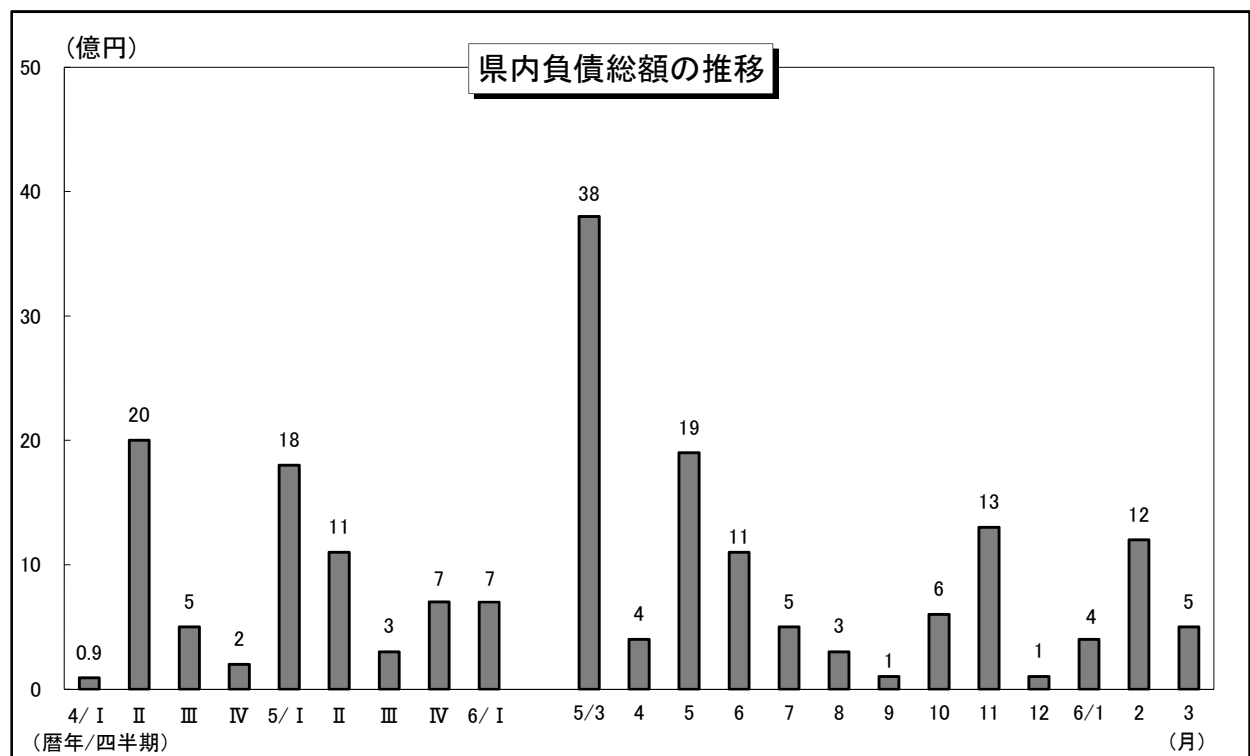
[資料:北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)]

9. 倒産



(注) 四半期の棒グラフは月平均。

[資料: 東京商工リサーチ]



(注) 四半期の棒グラフは月平均。

[資料: 東京商工リサーチ]